

2024年度 こどもエコクラブ

# メンバーアンケート 結果報告書

 **JEA** 公益財団法人日本環境協会  
Japan Environment Association

こどもエコクラブ全国事務局



# メンバーアンケート調査のあらまし

こどもエコクラブのメンバーの状況及び活動の実態を把握し、こどもエコクラブが持続可能な社会づくりの担い手育成に対してどのように貢献しているか、またどのような将来展望に寄与しているかを明らかにします。調査結果を関係者と共有するとともに、今後の事業展開の参考としていきます。

## 【実施概要】

### 1. 対象

①2024年度サポーターアンケート回答クラブのうち、協力いただいたクラブ：12クラブ

②こどもエコクラブ全国フェス2025参加クラブ：30クラブ

※「活発な活動をしているクラブのメンバー」が中心の調査と言えます

**合計 42クラブ**

2. 実施期間：2025年3月14日～4月21日

### 3. 実施方法

サポーターを通してメンバーから回答（フォーム回答、郵送による返送）

### 4. 有効回答数

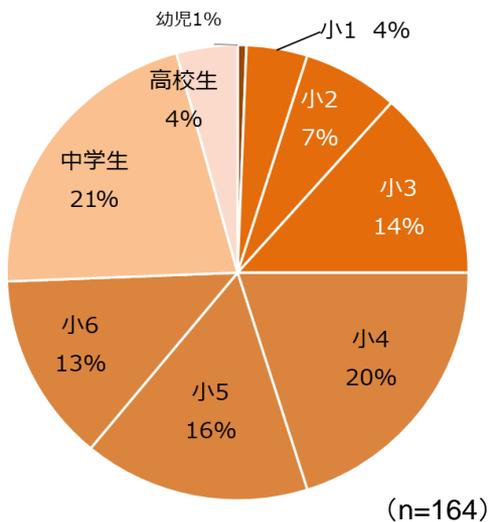
① 12クラブ・ 46名

② 30クラブ・118名

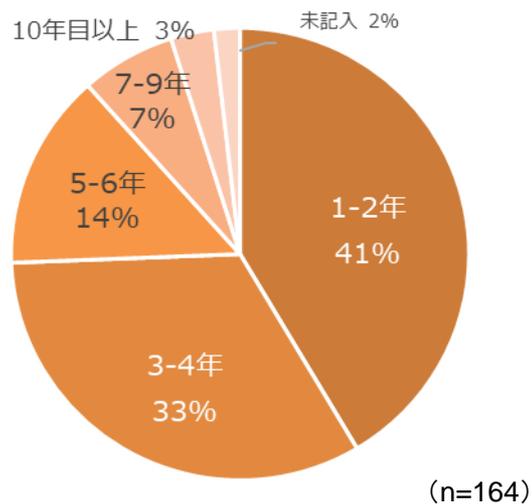
**合計 42クラブ・164名**

# 多様な年代のメンバー（子どもたち）から回答をいただきました

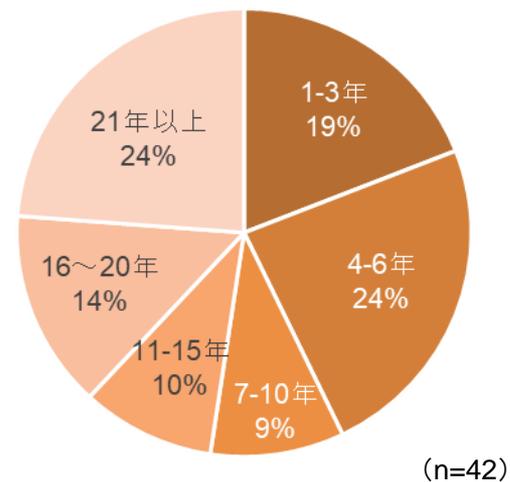
## ◆メンバー学年



## ◆クラブへの参加年数

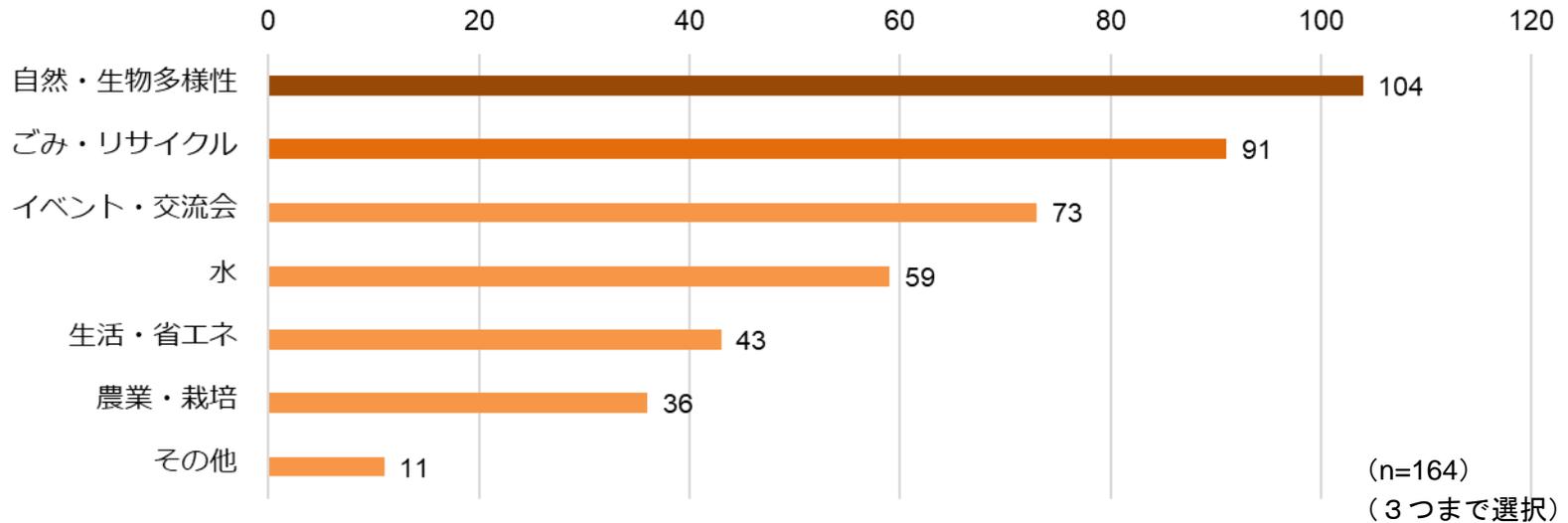


## ◆クラブの活動継続年数



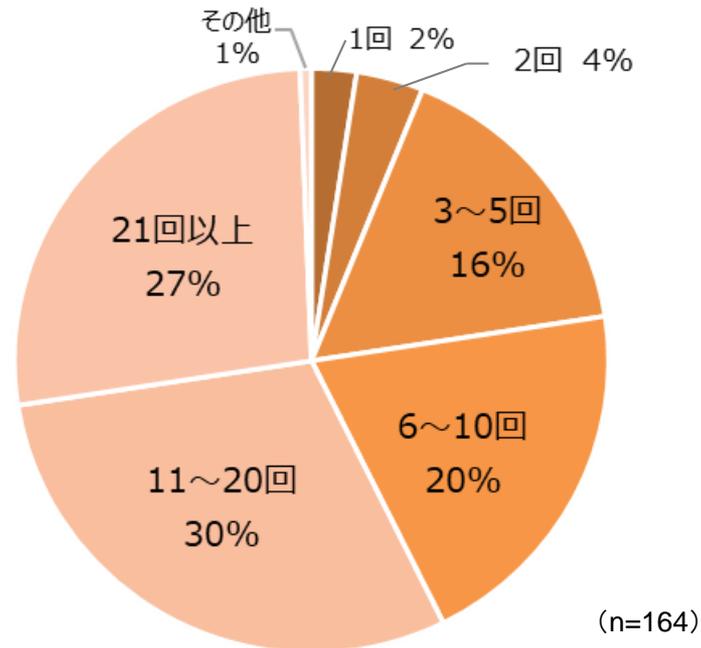
- 回答者の学年は小学校高学年が中心で、小4~6でおよそ全体の半数でした。中学生は21%でした。
- クラブへの参加年数は1~2年が一番多く、6年以下のメンバーが9割弱でした。
- 一方でクラブ自体の活動継続年数が7年以上が過半数でした。

## 多様な内容・テーマで活動しています



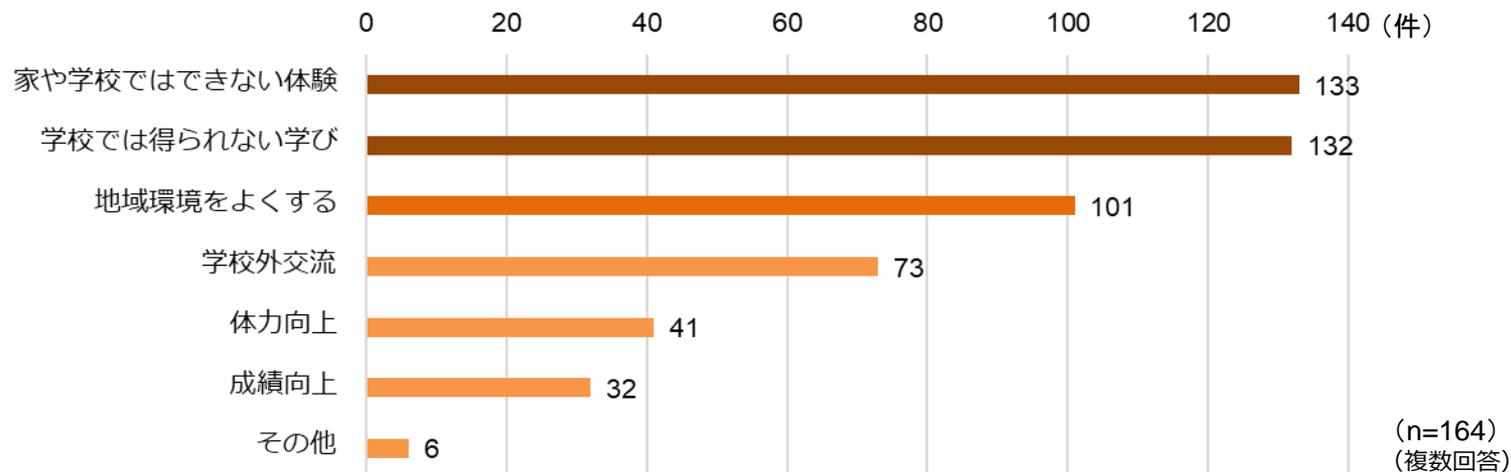
- **自然・生物多様性が一番多く、6割以上のメンバーが取り組んでいました。**
- ごみ・リサイクルが続き、イベント・交流会と答えたメンバーも多くいました。
- その他としては、図かんさくせい、新聞作り、コットンベイブの栽ばい・はん売、もちつき、ワークショップやステージといった活動が挙げられています。

## 継続した活動で子どもの成長を促しています



- 上の図は、1年間にメンバーが行った活動の回数を表しています。
- 11~20回が最多で30%を占めました。
- ほぼすべてのクラブ（93%）で3回／年以上活動していることがわかりました。
- **繰り返し活動することにより子どもたちの成長を促すこどもエコクラブのコンセプトが浸透していることがうかがえます**

## 家や学校では得られない体験・学びにつながります



- 上の図は、こどもエコクラブに参加してよかったことを聞いた結果です。
- 全体の**81%のメンバーが「家や学校ではできない体験ができた」と回答し、80%のメンバーが「学校では習わないことを知ることができた」**を回答しました
- その他「色々なことに興味をもつようになった（2件）」「自信がついた（2件）」  
「地いきのかんきょうについてよくしることができた」「草花や川に興味をもつようになった」  
「自然がもっと好きになった」といった具体的な回答がありました。

## 特に印象に残っている活動内容（自由回答）

- **自然・生物多様性に関する活動【76件】**

キャンプ（魚つかみ・火おこし・昆虫採集など）、ツリークライミング、自然観察、水生生物調査、釣り、下草刈り・森の手入れ、磯観察、ウミガメの産卵見学等。木の二酸化炭素吸収調べで、木によってCO<sub>2</sub>吸収量が違うとわかった、間伐体験を通して木は植えてから何年もかけて大きくなることが印象に残った。

- **イベント・交流会に関する活動【22件】**

全国フェスティバルでの発表・交流、壁新聞の作成、京都かんきょうフェスティバルへの参加、ミュージカル公演、地域交流会等。

- **ごみ・リサイクルに関する活動【8件】**

公園清掃や海のごみひろいを通してごみの種類や多さに気づいた。ごみ処理センターの見学が印象に残った。

- **農業・栽培に関する活動【7件】**

田植えや野菜やいちごの栽培、収穫祭り等。

- **水に関する活動【6件】**

川の水質調査等

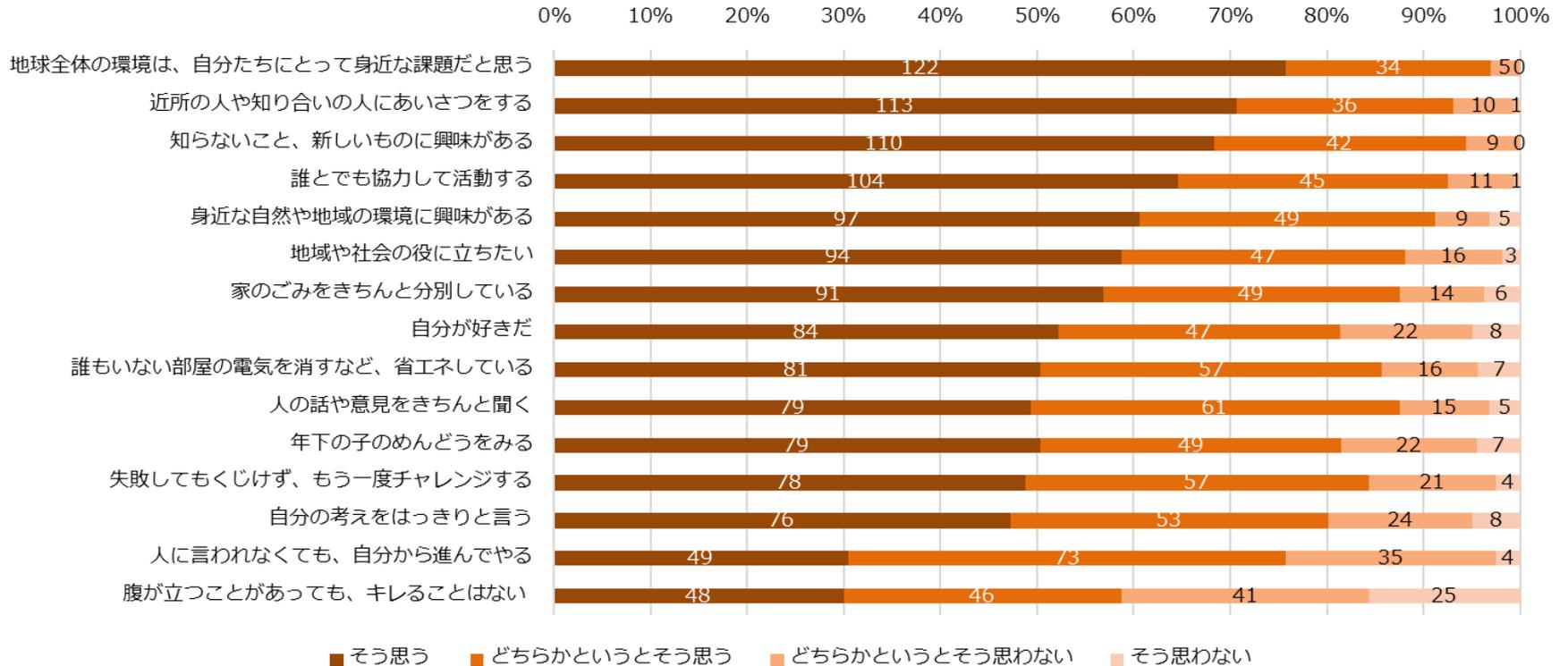
- **生活・省エネに関する活動【4件】**

発電所の施設見学、ダム見学、リサイクル工場見学等

- **その他の活動【40件】**

地産地消クッキング、魚の図鑑づくり、星空観察、募金活動、いろんな島々の方々と国際交流を行ったこと。

## 活動を通して積極性が育まれています



(n=164)

- 上の図は、各項目について自分にどのくらいあてはまるかを聞いたものです。
- 4段階評価の最高評価である「強く思う」の件数としては「地球全体の環境は自分たちにとって身近な課題だと思う」「近所の人や知り合いの人にあいさつをする」「知らないこと、新しいものに興味がある」が多い傾向でした。

## 未来への希望を持つ前向きな姿勢につながります

ジャンル	職業	回答数
生物関係	動物保護、野鳥レンジャー等の生き物に関わる仕事（9）、獣医（5）、水族館や動物園等のスタッフ（5）、花屋等	21
芸術関係	俳優・女優（4）、声優（3）、イラストレーター（2）、歌手（2）服飾関係、モデル、作曲家、作家、ファッションデザイナー、デザイン関係、漫画家、こま名人、陶芸家、舞台小道具、ドラマー	19
スポーツ関係	野球選手（4）、サッカー選手（3）、水泳選手（2）、バスケットボール、空手、ダンス、剣道の先生等	13
教師・リーダー系	保育士・幼稚園教師（5）、学校の先生（5）、児童館職員、養護教諭	12
食関係	パティシエ（4）、カフェ（5）、料理人（2）、パン屋、レストランオーナー	13
アミューズメント系	ユーチューバー（4）、アイドル、ゲーマー、ディズニーワールドのスタッフ	8
学者（科学者）	科学者（3）、生物学者（2）、考古学者、動物の研究者等	7
医療関係	医師（3）、看護師（3）、救急救命士、薬剤師	7
公務関係	警察官（6）	6
美容関係	美容師（6）	6
環境関係	環境関係の団体職員（3）、環境を守る、環境レンジャー	5
農業・水産関係	農家（2）、漁師	4
その他	学芸員、CA、アナウンサー、潜水士、巫女、銀行員、エンジニア、左官職人、Nゲージ専門家、ゲームプログラマー、コンビニ店員、人の役に立つ仕事、いい人、笑顔にする仕事、華やかな仕事等	17

(n=164)

- 上の図は、将来なりたいものやつきたい職業について自由回答で聞いたものです。
- 一番多かったものは、動物保護や獣医、飼育員等の生き物に関わる仕事が21件でした。科学者・生物学者を含むとさらに多く、28件となりました。
- 女優や声優、イラストレーター等の芸術系の職業で「自分を表現する」夢を持つメンバーもいました。学校の先生や幼稚園教諭・保育士、医師、看護師、警察官といった「人の役に立つ仕事」を志しているメンバーもいました。
- 考え中、まだ決めていない、特にない、未記入の合計は34人、全体の約21%でした。

## 未来への希望を持つ前向きな姿勢につながります <参考情報>

今回調査した「活発な活動をしているクラブのメンバー」は、約8割の子が何らかの「将来の夢」を持っているという結果がでました。

日本では「自分のしていることには、目的や意味がある」「将来の夢を持っている」「自分は他人から必要とされている」「自分には人に誇れる個性がある」で、他の国に10pt以上差をつけて同意するとの回答が少なかった。

質問9：自分自身について、以下の項目に同意しますか。（単一回答、各国n=1,000）  
※「同意」+「どちらかといえば同意」の回答率を、日本の高い順に掲載

(単位：%)	日本	アメリカ	イギリス	中国	韓国	インド
勉強、仕事、趣味など、何か夢中になれることがある	71.3	85.2	82.7	90.2	77.6	87.2
目標を立て、何かを達成した経験がある	68.9	82.9	80.9	89.0	78.3	83.9
自分が他人からどのような評価を受けているか気になる	68.4	69.4	72.6	82.5	77.6	77.1
日々の生活が楽しい	66.9	75.0	68.6	84.6	65.8	77.8
日々の生活で不安やゆううつを感じる	65.5	65.7	64.1	69.1	63.0	67.8
自分の人生には、目標や方向性がある	63.2	78.6	77.5	86.0	71.9	87.2
自分のしていることには、目的や意味がある	62.8	78.0	72.9	90.2	74.2	83.9
将来の夢を持っている	60.1	84.7	82.0	88.2	73.5	88.4
自分は他人から必要とされている	56.8	73.0	71.5	85.5	70.1	70.2
自分には人に誇れる個性がある	53.5	81.1	75.4	84.8	65.6	83.9

出典：日本財団・18歳意識調査 第62回テーマ「国や社会に対する意識（6カ国調査）」

一方で、上記の図の通り、日本財団が2024年に実施した18歳意識調査によると、「**将来の夢を持っている**」17～19歳は約6割という結果があり、今回のアンケート結果と比較するとその数値は低いことがわかります。**こどもエコクラブの活動を通して自身の将来に夢を持ち、未来への希望を持つ前向きな姿勢が生まれている可能性がある**と考えられます。

## まとめ・謝辞

こどもエコクラブのメンバーは、仲間との体験活動・多様な学びを通して、**環境問題を身近にとらえることだけでなく、コミュニケーション能力や知的好奇心も向上させている**と考えられます。また、環境問題を「他人事」でなく「自分事」としてとらえる意識・価値観が芽生えていると推察できました。

こどもエコクラブの活動を通して得た経験・体験は、**将来の夢や職業に影響を与え、自己肯定感の向上や自己実現へのモチベーションアップにつながる可能性がある**と推察されます。

こどもエコクラブ全国事務局では、アンケート結果を活かしてクラブのみなさまのお役に立つ情報やプログラムを展開していきたいと思えます。  
ご回答いただきましたメンバーのみなさま、  
ご協力いただきましたサポーターのみなさま、ありがとうございました。

